

○事業所名	児童発達支援 イルカ		
○保護者評価実施期間	令和8年1月15日		～ 令和8年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	6
○従業者評価実施期間	令和8年1月15日		～ 令和8年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者様ご本人様が、安心感や楽しいと思って通所頂けている。	活動内容を職員全員で検討させていただき、それぞれジャンルの違った内容を行っているため、日々の内容を楽しみに通所頂けています。	学習面について基本的取り組みが楽しく行う事ができる内容だとより一層保護者様にもご満足頂けるのではと思いますので、検討していきます。
2	個別支援計画書に関して保護者様からの意見やニーズを反映させることが出来ている。	作成するにあたって、職員全体でのカンファレンス、保護者様へのご要望の聴取を積極的に行っております	面談の回数を増やしたり、まとまった時間でお話できるような環境を整えていきます。
3	支援内容として傾向の近い利用者様が多いため、統一した支援を行うことができる。	・人の距離やコミュニケーションの取り方、関わり方の支援を行っている。 ・キッズピラティス、リトミック、運動遊び等により、体力向上を行っている。	成長や発達段階に応じた活動や達成感を感じることができるような支援を目指して日々プログラムの検討を行ってまいります。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館、保育園、幼稚園との交流等、外部との活動などが行えていない、地域との関わりが弱みだと考えております。	地域のイベントや交流に参加できる機会がなかったので、日々関係機関様とのコミュニケーションを図り、参加体制を整えるべきだと思います。	就労支援事業所様による販売のイベントや、市内で開催されている行事への参加の機会を設け、地域との交流が出来る場を作っていきたいと思っております。
2			
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		児童発達支援 イルカ		公表日		令和8年 3月 31日		利用児童数		令和8年2月時点 7名		回収数		6	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応							
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6												
	2	職員の数配置は適切であると思いますか。	3			3									
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6												
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6												
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6												
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6						アンケートの開始時期はまだ支援プログラムの公表が間に合っていないかもしれませんが、現在公表しております。また、不明点については個別にご説明させていただきます。						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6												
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6												
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6												
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6												
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域でのこどもと活動する機会がありますか。	4			2			公園や公共施設の利用の機会には他のこどものふれあいの機会を大切にしよう支援して押します。今後、このような機会を増やしていけたらと思っております。						
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6												
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5	1					ご説明の際、不明な点等ございましたら再度ご説明の機会を設けていただきます。						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5			1									
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	6												
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6						連絡ノートや日々の連絡時にお話しできるよう努めております。面談は常時受け付けておりますので、気軽に声をください。						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6												
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	1		1			保護者懇話会を定期的に設けております。来年度も開催予定ですので、ご参加いただければと思います。						
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知、説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	2											
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6												
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6												
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6												
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6												
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6												
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6												
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6						連絡ノートや日々の連絡時にお話しできるよう努めております。不明な点等ございましたらご連絡ください。						
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	6												
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	6												
	29	事業所の支援に満足していますか。	6												

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 児童発達支援 イルカ

公表日

令和8年 3月 31日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		規定人員は満たしているが十分な支援を行うために職員は適宜募集している。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		用途によって空間を区切ったり、目で見ても分かり易い掲示をしたりしている。	建物の構造上バリアフリー化が困難であるため、ご利用者様の特性に合わせて配慮し支援している。今後もより良い環境づくりに努めていきたい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		個別の部屋はないが、空間は区切ってあるので個別の対応が必要な際にはその一つを使っていたりよう支援している。	バーテーションの使用など適宜対応していく。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者アンケートを実施し今後の運営に役立てるように努めている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5			現在が第三者による外部評価は行っていませんが今後検討していく予定。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5			
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		ホームページで公開している。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		担当会議を実施している。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		一覧を作成するなど職員が常に把握し、適切な支援ができるよう工夫している。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		職員会議やレク会議にて検討を行っている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		職員会議やレク会議にて検討を行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			フォーマルな形式のミーティングではないが、支援や利用者様の情報の引継ぎなどは話し合うようにしているので今後フォーマルな形にしていきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			フォーマルな形式のミーティングではないが、支援や利用者様の情報の引継ぎなどは話し合うようにしているので今後フォーマルな形にしていきたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		支援計画に沿って支援内容の記録をとり都度確認、検証、改善できるよう努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		保健センターや相談支援事業所との連携、関係機関とのやりとりは継続して行っている。	連携や連絡の密度を上げていきたい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		必要に応じて個別支援計画の周知を行い情報の共有を図っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			必要に応じて連携を行っている状態なので連携や連絡の密度を上げていきたい。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5		地域マネジメントとして年2回、担当の児童発達支援センター職員が来所、助言を受けている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	3		外出行事の際には地域の子どもと活動することはできるが、機会としては設けていない為、今後レクリエーションの一環として実施していきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		送迎時や連絡ノートで保護者様からの相談にお答えするようにしている。また、保護者様からの希望がある場合は面談を実施している。	定期的な保護者参観の実施、研修の実施など検討していきたい。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		送迎時や連絡ノートで保護者様からの相談にお答えするようにしている。また、保護者様からの希望がある場合は面談を実施している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		保護者参観日を実施している。	保護者参観の定期的な実施に取り組んでいく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		相談や申し入れがあった際には迅速かつ丁寧に対応するように心掛け職員全員に内容を周知、共有して適切な対応を行っている。また、重要事項説明書にも苦情対応窓口を記載し説明もを行っている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		HPやインスタグラムにて公開している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報個人別ファイルを施錠したロッカーにて保管し個人情報の取扱いに関しては研修を行うなど注意を徹底している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2		現在のところ実施していないので検討していきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		マニュアルを策定し事業所内に提示している。また、会議や訓練を行い職員間には周知しており、保護者には必要に応じて説明している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		契約時に健康の記録を記入していただき、都度確認し支援している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		マニュアルを策定し研修や訓練の実施をしている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		過去の事例を一覧にして都度確認ができるようにしている。また、事例検討を行う事で周知と理解の向上に努めている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		職員会議内にて事例の検討を行っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5				